



土壌汚染対策を法律、技術、鑑定、土地利用など幅広い観点から集大成した「土壌汚染 その総合的対策(ぎょうせい刊)」が発刊された。民間都市開発推進機構都市研究センターの監修、編集を資産評価政策学会が担当。編集協力はTALO都市企画。

民都機構の委託を受けて学会が実施した調査研究の成果をまとめたもの。学会内に各分野の専門家を委員とし、国土交通省関係課長がオプザーバー参加した委員会を設け、現時点で得られている知見を中心に、土

新刊
紹介

『土壌汚染 その総合的対策』

土地の資産評価など最新情報を網羅

編／資産評価政策学会 発刊／ぎょうせい

土壌汚染対策に関連する情報を網羅(もうら)した。

本書は、①土壌汚染に係る取り組み②土壌汚染対策の調査・処理技術③土壌汚染に係る土地の資産評価④土壌汚染対策の責任と費用負担の法律関係⑤土壌汚染と都市計画、土地利用の5章で構成。

基礎調査を市が行うことで特徴的な秦野市の条例や、さまざまな調査、措置・処理対策技術、汚染可能性不動産検索システムなども紹介。また、私法、公法上の論点を整理するなど、豊富な内容だ。

なお、執筆陣には、ケイアイ不動産鑑定、アースアプレイザル社長の靱持一郎氏や、君津市の鈴木喜計氏らも参画している。

B5判274ページ。定価3000円(消費税別)。発行はぎょうせい ☎03(53349)6666。